

2021年12月23日
公益財団法人 日本英語検定協会

2022年度
「英検」・「英検 S-CBT」・「英検 S-Interview」の検定料のお知らせ
(値下げ)

公益財団法人 日本英語検定協会（理事長：松川孝一、所在地：東京都新宿区横寺町 55、以下、「英検協会」）は、このたび、実用英語技能検定の各種試験（「英検」（従来型の英検を示す）・「英検 S-CBT」・「英検 S-Interview」）の来年度、2022年度の検定料を決定しましたので、以下、お知らせ申し上げます。

【2022年度「英検（従来型）」、「英検 S-CBT」、「英検 S-Interview」の検定料一覧】 (税込)

申込区分		実施会場		1級	準1級	2級	準2級	3級	4級 *2	5級 *2	
		一次試験	二次試験								
英検 (従来型)	個人/ 団体	本会場	本会場	11,800円 <small>(現在 12,600円)</small>	9,800円 <small>(現在 10,700円)</small>	8,400円 <small>(現在 9,700円)</small>	7,900円 <small>(現在 9,200円)</small>	6,400円 <small>(現在 7,900円)</small>	4,500円 <small>(現在 4,900円)</small>	3,900円 <small>(現在 4,500円)</small>	
	団体申込 のみ	準会場①	準会場	—	—	6,400円 <small>(現在 6,500円)</small>	5,700円 <small>(現在 5,800円)</small>	4,700円 <small>(現在 4,800円)</small>	2,900円 <small>(現在 2,900円)</small>	2,500円 <small>(現在 2,500円)</small>	
		準会場②	準会場	準会場*1	—	—	6,000円 <small>(現在 6,100円)</small>	5,300円 <small>(現在 5,400円)</small>	4,300円 <small>(現在 4,400円)</small>	2,900円 <small>(現在 2,900円)</small>	2,500円 <small>(現在 2,500円)</small>
		準会場③	本会場	準会場*1	—	—	8,000円 <small>(現在 9,300円)</small>	7,500円 <small>(現在 8,800円)</small>	6,000円 <small>(現在 7,500円)</small>	4,500円 <small>(現在 4,900円)</small>	3,900円 <small>(現在 4,500円)</small>
英検S-CBT		テストセンター		—	9,900円 <small>(現在 10,200円)</small>	9,000円 <small>(現在 9,200円)</small>	8,500円 <small>(現在 8,700円)</small>	7,200円 <small>(現在 7,400円)</small>	—	—	
英検S-Interview		受験上の配慮措置に 適した本会場		11,900円 <small>(現在 12,100円)</small>	9,900円 <small>(現在 10,200円)</small>	9,000円 <small>(現在 9,200円)</small>	8,500円 <small>(現在 8,700円)</small>	7,200円 <small>(現在 7,400円)</small>	—	—	

準会場①：実施会場は、一次試験が準会場、二次試験は本会場。従来の現行方式。

準会場②：実施会場は、一次試験が準会場、二次試験が準会場

準会場③：実施会場は、一次試験が本会場、二次試験が準会場

*1：二次準会場申込にあたり志願者数の下限を設定 *2：4級・5級は一次試験のみ

なお、決定の背景につきましては別紙をご参照いただきますようお願い申し上げます。

2022年度も、コロナ禍の影響はまだ続くものと推察致します。英検協会としましては、来年度も引き続き、各試験会場の受験者様や実施に従事いただく皆様の安全確保に努め、厚生労働省や文部科学省、それに全国検定振興機構の業界ガイドライン等に沿った、英検協会独自の感染拡大防止に関するガイドラインに基づき、入念な感染防止対策を講じさせていただき試験を実施させていただきます。

来年度、英検を受験されるご予約の皆様方におかれましては、引き続き、感染予防に十分にご留意いただき、英検協会指定の感染防止策にご理解とご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

<本件の問合せ先>

公益財団法人 日本英語検定協会

個人申込の方、団体申込の方、学校・塾・企業などの団体責任者向けのお問い合わせ

<https://www.eiken.or.jp/eiken/contact/>

【背景】

英検（従来型を示す）は、試験の形態上、かかる費用の影響度が大きく、コロナ禍の影響により、試験実施にかかる各種原価が高騰し、受験者様には大変申し訳ございませんが、今年度、検定料を値上させていただきました。*

※ 詳細は以下のプレスリリースをご参照

2021年度「英検」、「英検 S-CBT」、「英検 S-Interview」の検定料のお知らせ（2021年2月5日付）

https://www.eiken.or.jp/association/info/2021/pdf/20210205_info_eikenfees2021_1.pdf

英検協会としましては、こうした状況を打破すべく、今後のパンデミックの状況は予測不能であります。あらゆる状況を見据えながら、今年度の早い段階から、経費削減等も含めた収支改善と、安全配慮のもとでのコロナ禍前と変わらない受験者様への受験機会のご提供とその実現を目指し、英検（従来型）の様々な施策をおこなってまいりました。

また英検 S-CBT におきましても、昨年度 2020 年度にサービスを開始し、今年度より「英検 CBT」とサービス統合したばかりの新しい方式の試験ということもあり、これまで受験いただいた皆様の御声等も参考にさせていただきながら、費用削減と運用品質のさらなる向上を目指し、英検（従来型）と同様、様々な施策を今年度おこなってまいりました。

今年度の英検（従来型）、英検 S-CBT の各種試験の主な施策は以下のとおり。

【今年度（2021年度）に取り組んだ主な施策一覧】

●英検（従来型）

- ・各検定回次における試験日程の大幅増
- ・最適な試験会場の借用の実現、ならびに拡充
- ・一般受験者様の準会場への受け入れ推進
（→全国の多くの準会場様のご理解、ご協力があった実現）等

●英検 S-CBT

- ・きめ細やかな需給調整によるテストセンターの稼働率向上の実現
- ・プロセス改善の取り組み 等

その結果、（2021年度はまだ第3回検定は終了していませんが）2021年度は第1回検定、第2回検定ともに、コロナ禍の状況下ではありますが、受験を希望される受験者様の受け入れ人数を制限させていただくことなく、コロナ禍前と変わらず、お申し込みいただいた皆様に予定通り受験いただきました。

新たな変異株の出現もあり、今後のコロナによる影響はいまだに不確実でございます。事実、今も試験にかかる各種原価は高止まりしております。一方で、今年度の各種施策が奏功し、第2回検定が終わった現時点におきまして、今後の収支の目途がおおよそ立った状況でございます。

以上におきまして、来年度のコロナ禍の影響を精査し、試験実施にかかる費用等を算出し、来年度、ご案内の検定料とさせていただきます。